



### 市長の政治姿勢について

**質問** 任期の半分が経過した。今後の課題にどう向き合っていくのか。

**答弁** 政策理念の中の「産業を育成し雇用を創出する」、「人口減少に歯止めを」の2つを「第2次横手市総合計画」の最重要課題と位置づけている。折り返しの2年では、一般財源が減少していく中でも事業の集中と選択をしっかりと行い、人口減少の流れの中でも永続的に発展できるよう、市民と一体となって、この難局に挑む。

**質問** この2年間の市政運営は雑だったと思う。様々な場面において、市民に対する説明、議会との意見交換、市役所内部の情報共有・連絡体制が不十分だった。議会で何度も指摘されているのに改まっていない。どう受け止める？

**答弁** 丁寧さに欠けている部分については、しっかりとその言葉を受け止めて反省する。時に制約がある中でも、いかにわかっていただくかの努力が必要だったと思う。今後は情報提供や意見をいただく形をつくっていく。

### 市職員と地域社会の関わりについて

**質問** 今後の行政運営において「協働」が求められる中、市職員の地域社会に対する貢献活動は重要だと思う。市長が思い描く「地域社会との関わりの中での市職員の、あるべき姿」は？

**答弁** 地域の方々とは話しながら一緒に行動すること、は地域と行政をつなぐパイプを太くするものであり、自律的な地域づくりの一助となると考え

ている。また、地域における行政課題の把握や地域との信頼関係構築にもつながる。市職員本人の資質向上や人材育成の観点からも大変重要だ。

**質問** 「横手市職員地区担当制度」の成果と課題について何う。

**答弁** 地区会議における住民要望や地域課題の収集、地域づくりの支援等、地域住民と一緒に活動を行っており、一定の成果があった。

しかしながら、住民と行政双方の「協働」の理解不足、市職員への過度な期待があり地域住民の主体性・自主性が育たない、担当する市職員のスキルの違いといった課題があることも認識している。

**質問** 市職員が業務外で行う地域活動も人事評価の対象にするか？



▲答弁する高橋市長



▲再質問する青山ゆたか

る必要があると思うが、その是非についてどう考えるか？

**答弁** 人事評価制度は職務を遂行するにあたって発揮した能力や、業績を把握したもの、いわゆる勤務成績で評価する。総務省のガイドラインにも（業務外の活動に関しては）入っていない。

**質問** おっしゃる通りだ。しかしながら、法律に触れているわけではないし、（職員が）地域活動に参加すること自体を人事評価に加えている自治体もある。そういう考え方の首長もいるということだ。市長はどう思うか？

**答弁** 昇任・昇格試験の際に（地域活動の部分も）勘案している。市職員たるもの、模範的な市民であってほしいと強く願っている。

